

## 船橋市地方卸売市場運営協議会 次第

|     |                       |
|-----|-----------------------|
| 日 時 | 令和6年7月9日（火）<br>14:00～ |
| 場 所 | 市役所9階 第1会議室           |

(1) 会長選出

(2) 講話「卸売市場の重要性をどう伝えるか？」

東京聖栄大学 客員教授 藤島 廣二

(3) 第一期整備事業の進捗状況について

# 船橋市地方卸売市場運営協議会委員名簿

任期 令和6年6月23日～令和8年6月22日

| 区 分            | 氏 名                       | 所 属             | 役 職      |
|----------------|---------------------------|-----------------|----------|
| 学 識 者<br>(2人)  | ふじしま ひ ろ じ<br>藤 島 廣 二     | 東京聖栄大学          | 客員教授     |
|                | す ず き た だ し<br>鈴 木 正      | 船橋商工会議所         | 副会頭      |
| 生 産 者<br>(2人)  | みつはし さ か え<br>三 橋 栄       | 市川市農業協同組合       | 船橋地区統括理事 |
|                | たかはし としゆき<br>高 橋 敏 行      | ちば東葛農業協同組合      | 代表理事専務   |
| 消 費 者<br>(3人)  | た な か や す こ<br>田 中 和 子    | 船橋市全婦人団体連絡会     | 会長       |
|                | はやかわ よ し お<br>早 川 淑 男     | 船橋市自治会連合協議会     | 会長       |
|                | やぶた と も こ<br>薮 田 朋 子      | 船橋市消費生活センター     | 消費生活相談員  |
| 卸売業者<br>(2人)   | きたむら こういち<br>北 村 公 一      | 長印船橋青果株式会社      | 代表取締役社長  |
|                | しまわき よしとも<br>島 脇 義 知      | 船橋魚市株式会社        | 代表取締役    |
| 仲卸業者<br>(2人)   | たかはし じゅんや<br>高 橋 純 也      | 船橋青果卸売協同組合      | 理事長      |
|                | い し い たつろう<br>石 井 立 朗     | 船橋市水産物仲卸協同組合    | 理事長      |
| 関連事業者(1人)      | おおにし ひ ろ し<br>大 西 洋 史     | 船橋市地方卸売市場関連商業組合 | 理事長      |
| 売買参加者(1人)      | ゆ あ さ よしあき<br>湯 浅 吉 章     | 船橋青果商業協同組合      | 理事長      |
| 小売業者(1人)       | ご う だ ひ ろ き<br>合 田 寛 樹    | 船橋大型店連絡協議会      | 会長       |
| 関係行政機関<br>(2人) | あ ら い は じ め<br>荒 井 一      | 千葉県農林水産部販売輸出戦略課 | 主幹       |
|                | いち は ら や す の り<br>市 原 保 紀 | 船橋市             | 経済部長     |

# 卸売市場の重要性をどう伝えるか？

東京聖栄大学食品学科

藤 島 廣 二

# < 目 次 >

1. 卸売市場に対する誤解・偏見
2. 卸売市場の社会的役割・意義

# 1. 卸売市場に対する誤解・偏見

## 【近年の政府や政策関係者の誤解・偏見】

- ・ 2016年11月25日 「農業競争力強化プログラム」

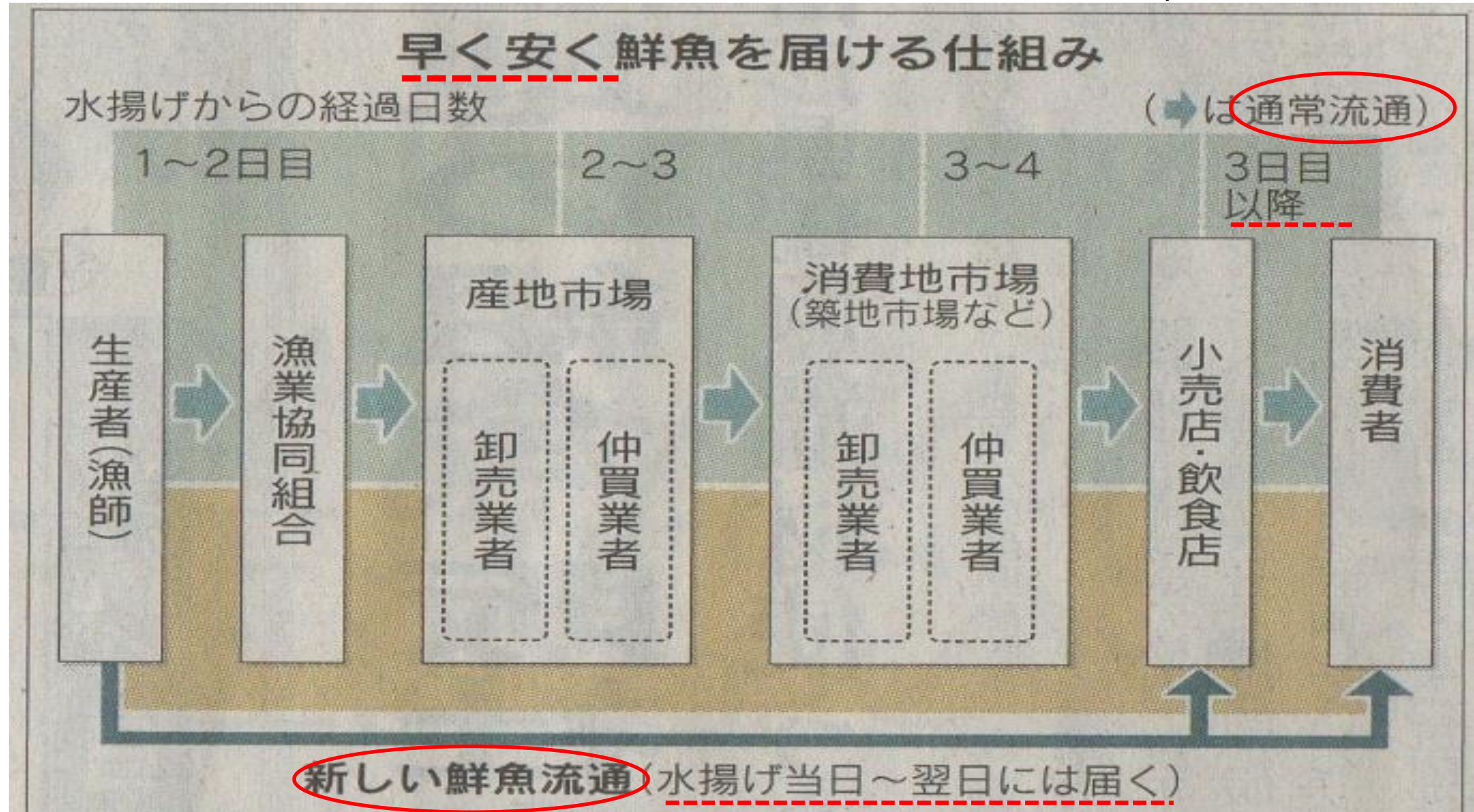
国は、**農業者・消費者のメリットを最大化**するため、農業者・団体から実需者・消費者に農産物を**直接販売**するルートの拡大を推進する

- ・ 2017年5月 農業競争力強化支援法成立

第13条 国は、農産物流通等の**合理化**を実現するため、農業者又は農業団体による農産物の**消費者への直接の販売**を促進するための措置を講ずるものとする。

# 図1-1 メディア関係者の誤解・偏見

日経MJ 2011.2.23



# 図1-2 “有識者”の誤解・偏見～流通革命論(問屋無用論)～

流通革命論……林周二『流通革命』中央公論社・1962年

1年1サイクルの時代

年俸制(俸禄米)  
「あきんど」(アキビト)

現物経済(年俸は「米穀」で)

砂糖屋、塩屋、漬物屋、等(商品別)  
〔定期市?〕



1860年代＝対外貿易の開始(“黒船”)

1年12サイクルの時代

月給制  
月刊誌

貨幣経済(月給は「現金」で)

食料品店(多角化)  
問屋(生産・小売が弱小)



1960年代＝対外貿易の自由化(“第二の黒船”)

1年52サイクルの時代

週給制(一般化は60年代末)  
週刊誌

信用経済(週給は「小切手」で)

スーパー・マーケット(低コスト・多角経営)  
チャネル・ミックス(横に統合、縦に統合)

## 図1-3 米騒動勃発時の国等の誤解・偏見

第1次世界大戦(1914年4月～18年11月):輸出増によるインフレ  
シベリア出兵(1918年8月2日出兵宣言～22年)



大正7年(1918年)8月3日 富山県内で**米騒動**が発生



### **公設小売市場の設置と奨励**

(公設小売市場の嚆矢は大正7年4月15日設置の大阪市内の市場)

大正7年8月12日 名古屋で公設小売市場の開設  
(区役所を利用して米の廉売を開始)

9月 京都で公設小売市場の開設  
(七条・北野・川端公設小売市場)

**12月 内務次官通牒『小売市場設置奨励ノ件』**

[大正9年の公設小売市場数 東京府70カ所、大阪市15カ所、神戸市8カ所等]

## 2. 卸売市場の社会的役割・意義

<1>流通コストの縮減（低コスト化）

<2>指標価格の形成（出荷側・仕入側が納得しうる価格）

目利きによる価値判断と価格形成 = 指標価格

市場外取引の円滑化

<3>品揃え豊富化＝生活の豊かさの実現への貢献

品選び＝選択幅の拡大

（好みに合う物、毎日変える物、自宅用・贈答用）

<4>委託品の即日全量販売

8月の販売量（大田市場・きゅうり）：80t～290t／日

国内産地の維持・発展に寄与

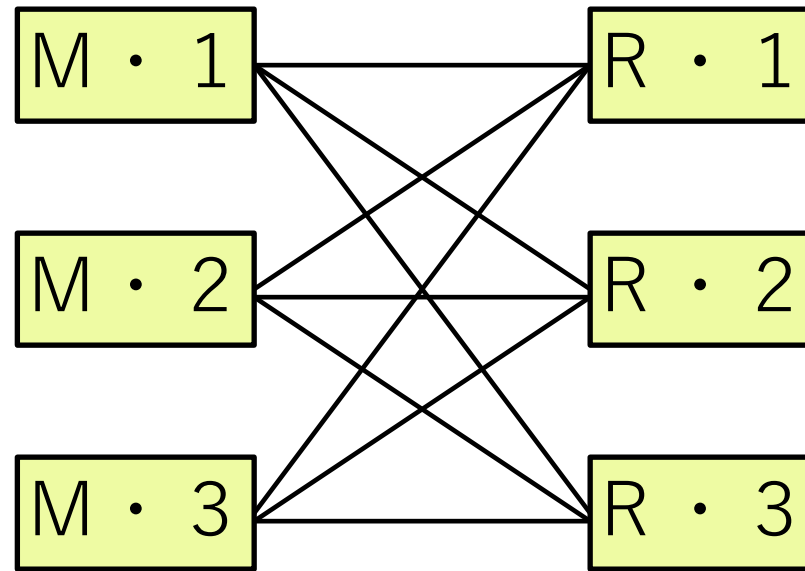
<5>短期決済

決済期間：1～2週間（出荷者のリスクが小さい）

## <1>流通コストの縮減（低コスト化）

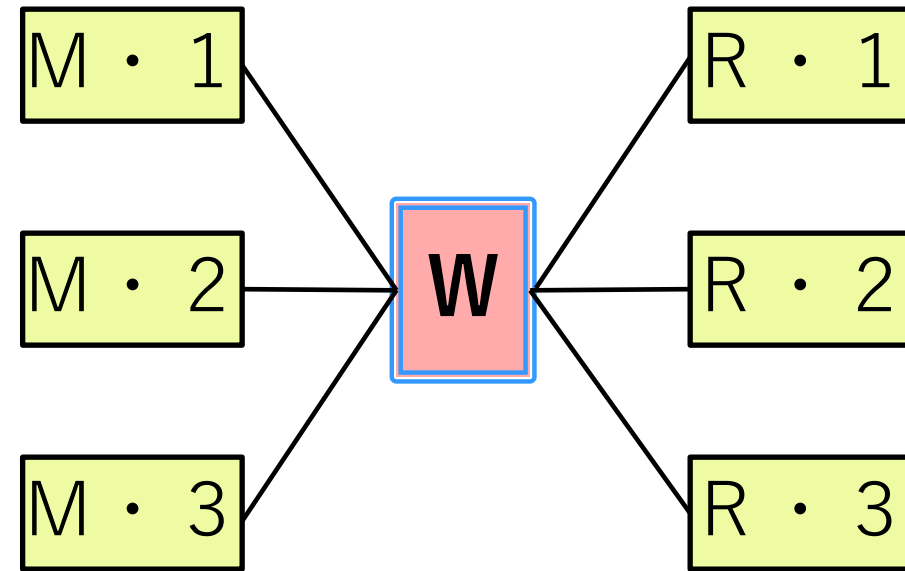
図2-1 取引総数極小化の原理

【卸売市場が介在しない場合】



$3 \times 3 = 9$ 回

【卸売市場が介在する場合】



$3 + 3 = 6$ 回

[ M:生産者      R:小売業者      W:卸売市場 ]

・交渉回数の縮小    ・伝票等の事務関連コストの縮減    ・輸送コストの縮減

## 《流通コスト比較》(推測値)

|                            |                |            |          |
|----------------------------|----------------|------------|----------|
| 〔生産者直売所〕<br><u>300円/kg</u> | 選別・調製・包装・運搬・陳列 | 10～        | 60円/kg   |
|                            | 直売所手数料(5～30%)  | 15～        | 90円/kg   |
|                            | 消費者運搬費用(ガソリン代) | 0～         | 850円 (?) |
|                            | 同 (車の償却費、管理費)  | 20円/km     | (?)      |
|                            | 人件費(1,200円/時間) | 600～6,000円 | (?)      |
|                            | 赤字部分の計         | 600～8,850円 | (?)      |

|                                  |                          |            |            |
|----------------------------------|--------------------------|------------|------------|
| 〔市場→小売〕<br><u>400円/kg</u><br>小売値 | 集荷場までの運搬                 | 5～         | 10円/kg     |
|                                  | 選別・調製・包装(段ボール等)          | 15～        | 50円/kg     |
|                                  | 産地・市場間輸送料                | 5～         | 40円/kg     |
|                                  | 手数料(JA・産地商人、卸、仲卸:20～25%) | 60～        | 100円/kg    |
|                                  | 小売手数料(20～25%)            | 80～        | 100円/kg    |
|                                  | 消費者運搬費用((ガソリン代)          | 0～         | 35円 (?)    |
|                                  | 同 (車の償却費、管理費)            | 20円/km     | (?)        |
|                                  | 人件費(1,200円/時間)           | 600～1,200円 | (?)        |
|                                  | 赤字部分の計                   | 600～       | 1,400円 (?) |

# 表2-1 クロネコヤマトの「関東からの運賃」

| 宅急便サイズ<br><br>〔縦・横・高さ(cm)又は重さ〕 | 関東からの運賃(円)＜税込＞ |       |                             |       |          |       |       |
|--------------------------------|----------------|-------|-----------------------------|-------|----------|-------|-------|
|                                | 北海道            | 北東北   | 南東北<br>関東<br>信越<br>北陸<br>中部 | 関西    | 中国<br>四国 | 九州    | 沖縄    |
| 60サイズ(60cm以内2kgまで)             | 1,339          | 1,015 | 907                         | 1,015 | 1,123    | 1,339 | 1,339 |
| 80サイズ(80cm以内5kgまで)             | 1,555          | 1,231 | 1,123                       | 1,231 | 1,339    | 1,555 | 1,879 |
| 100サイズ(100cm以内10kgまで)          | 1,793          | 1,469 | 1,361                       | 1,469 | 1,577    | 1,793 | 2,441 |
| 120サイズ(120cm以内15kgまで)          | 2,009          | 1,685 | 1,577                       | 1,685 | 1,793    | 2,009 | 2,981 |
| 140サイズ(140cm以内20kgまで)          | 2,246          | 1,922 | 1,814                       | 1,922 | 2,030    | 2,246 | 3,542 |
| 160サイズ(160cm以内25kgまで)          | 2,462          | 2,138 | 2,030                       | 2,138 | 2,246    | 2,462 | 4,082 |

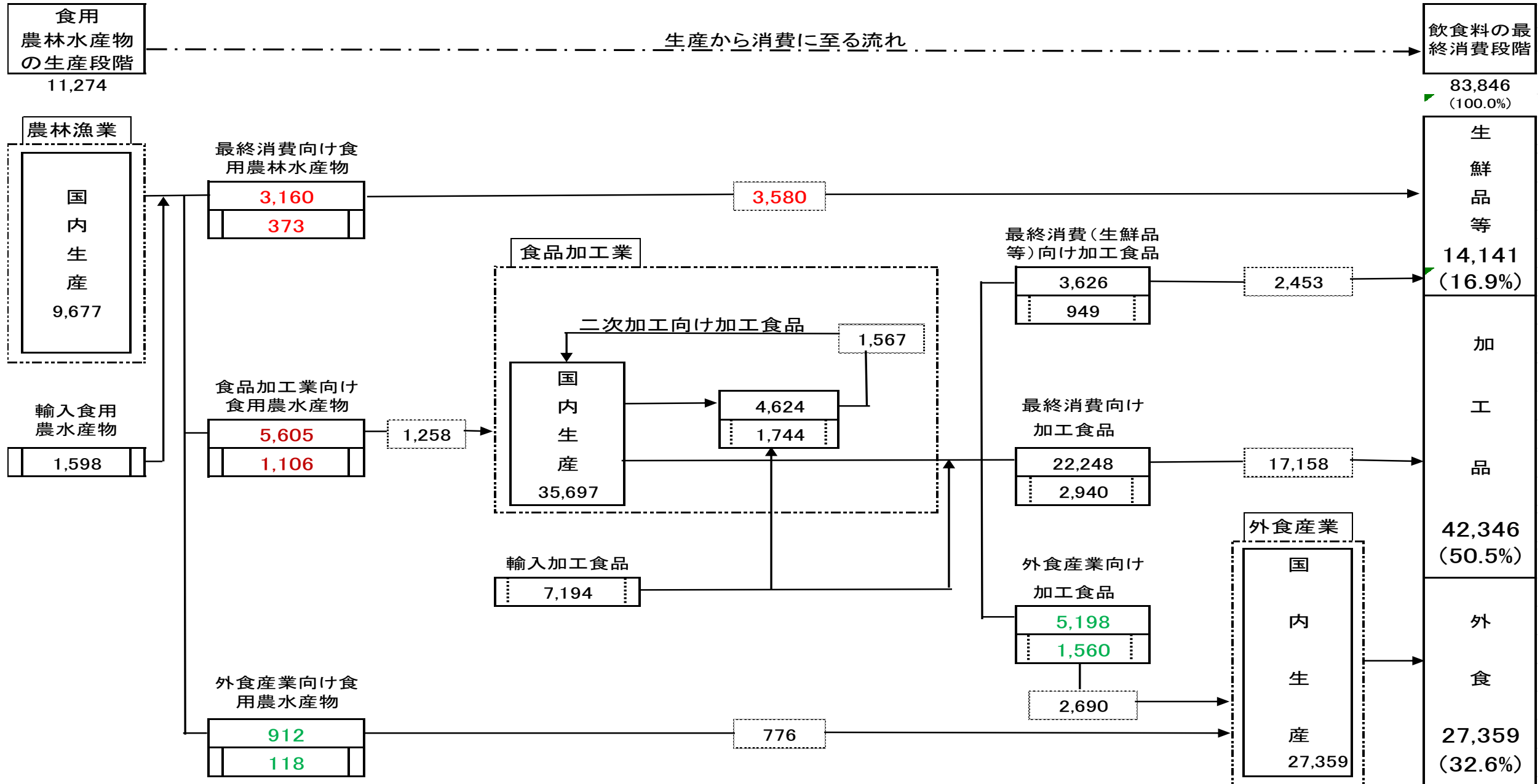
注1)出典はヤマト運輸「宅急便運賃一覧表」。

注2)クール宅急便、宅急便タイムサービスを利用される場合は、上記運賃に下記料金が追加される。

クール宅急便:216円(60サイズ)～648円(120サイズ)、宅急便タイムサービス:324円(60サイズ)～1,944円(160サイズ)

# 〔追加〕日本国内のフードシステムの全体像(2015年)

(単位: 10億円)



船橋市地方卸売市場運営協議会 説明資料

# 第一期整備事業の 進捗状況について

令和6年7月9日

船橋市地方卸売市場 総務課

# 船橋市地方卸売市場経営戦略策定 (R3.3)

## 目指すべき将来像

安全・安心な生鮮食料品等を安定的に供給するとともに、広域的な流通拠点として、品質管理・衛生管理の高度化に対応できる施設の整備や市民に親しまれる市場を目指します

## 4つの目標

目標1: 生鮮食料品等の安定供給に努めます

目標2: 安全・安心を提供します

目標3: 魅力ある市場を目指します

目標4: 市場運営の健全化を目指します

# 再整備基本方針

## 第一期整備

耐震性能不足への対応は安全確保のため最優先で実施

対象施設：関連店舗棟、冷蔵庫棟、北側仮設駐車場整備

## 第二期整備

品質・衛生管理の高度化への対応はサウンディング調査やPFI導入検討を実施

対象施設：水産・青果卸売場棟エリア、加工・仕分・配送エリア、北側立体駐車場

# 整備スケジュール

## 第一期整備

| 施設              | R4年度      | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 |
|-----------------|-----------|------|------|------|------|------|
| 新関連店舗棟<br>新冷蔵庫棟 | 基本・実施設計完了 |      | 建設工事 |      |      | 営業開始 |
| 北側仮設駐車場         |           | 整備完了 |      |      |      |      |
| 事務所付倉庫          |           | 整備完了 |      |      |      |      |

## 第二期整備（予定）

～水産・青果卸売場棟、加工・仕分・配送施設等～

サウンディング調査やPFI導入検討を行ったうえで、整備内容や整備手法の検討を進める。

# 新関連店舗棟

鉄骨造3階建  
延床面積7,118m<sup>2</sup>  
1階: 物販店36コマ  
2階: 飲食店22コマ  
+公共エリア  
3階: 事務所21コマ



# 新冷蔵庫棟

RC造4階建  
延床面積4,378m<sup>2</sup>  
多温度管理型  
非常用電源設置  
ドックシェルター装備  
コールドチェーン対応



# 再整備完了後の ゾーニングイメージ図案

